

南あわじ市果樹協会就農・定着応援プラン

令和5年4月24日策定

淡路島で果樹づくりを体験してみませんか！



南あわじ市果樹協会

1. 南あわじ市の果樹産地の概要

(1) 集落の位置

南あわじ市で生産される果樹は、主に市内北部の倭文地区と南東部の灘地区のほか旧西淡町に分布しています。

(2) 集落の人口

南あわじ市の人口45,281人（令和4年10月末時点）のうち、倭文地区には1,445人、灘地区は532人が暮らしています。

(3) 気候

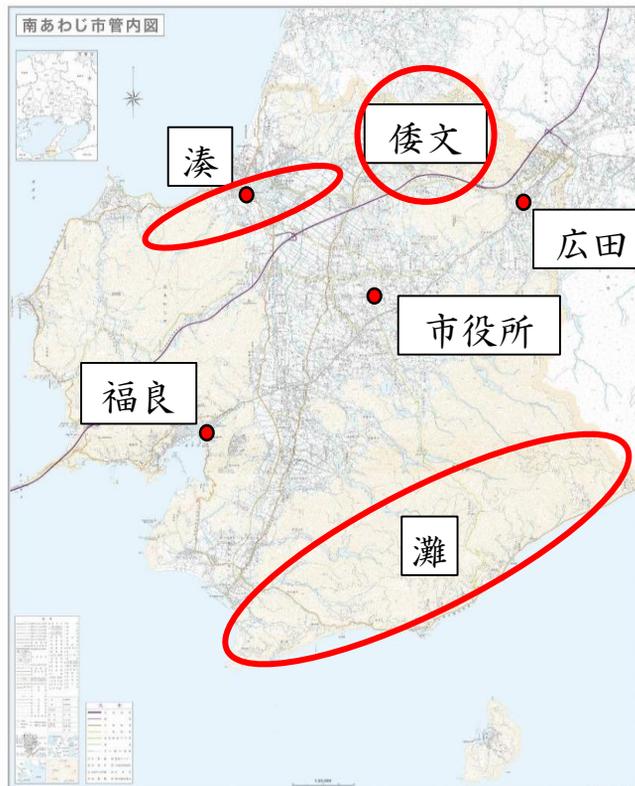
年間平均気温は約16.3℃、年間降水量は約1,300mm、日照時間1,760時間の温暖少雨な気候で、特にかんきつ類やびわ等の常緑果樹の栽培適地となっています。また、台風時期でも基本的には冠水等の被害はありません。

(4) 南あわじ市の農業の特徴

南あわじ市は水稻と露地野菜を組合わせた多毛作栽培がさかんで、特にたまねぎとレタスについては全国有数の産地となっています。果樹においては、かんきつ類やびわのほか、昨今はぶどうやオリーブ等の品目も栽培されるようになっていきます。

(5) 付近の観光

倭文地区では、毎年11月にみかんの木オーナー制度による観光農園を実施しています。また、灘地区には、黒岩水仙郷があるほか、沼島を望むこともできます。



2. 南あわじ市の果樹の概要

(1) 南あわじ市果樹協会の概要

南あわじ市果樹協会は、かんきつ類やびわ、ぶどう等の果樹生産者34名から構成される団体で、研修会等の開催・参加による技術研鑽や交流の促進、情報交換を実施しています。

(2) 主要品目



①かんきつ類

栽培者32戸、栽培面積1,585a

かんきつ類は県下有数の生産で、主に倭文地区と灘地区で生産されています。温州みかんのみならず、収穫時期の分散のため、不知火や八朔などの中晩生柑橘のほか、淡路島原産の淡路島なるとオレンジも一部で生産されています。



②びわ

栽培者9戸、栽培面積73a

灘地区の海に面した急斜面を活用し生産されているびわは市の特産品でもあります。JAのびわ部会では、農薬の使用量を抑えた栽培を行うなど栽培方法にこだわり、その品質の良さは市場からは高い評価を得ています。

(3) 年間の作業スケジュール

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
かんきつ類		→	剪定 →			摘果 →				まずはここから体験		収穫・出荷
びわ			袋掛け →			収穫 →	剪定 →				摘蕾 →	

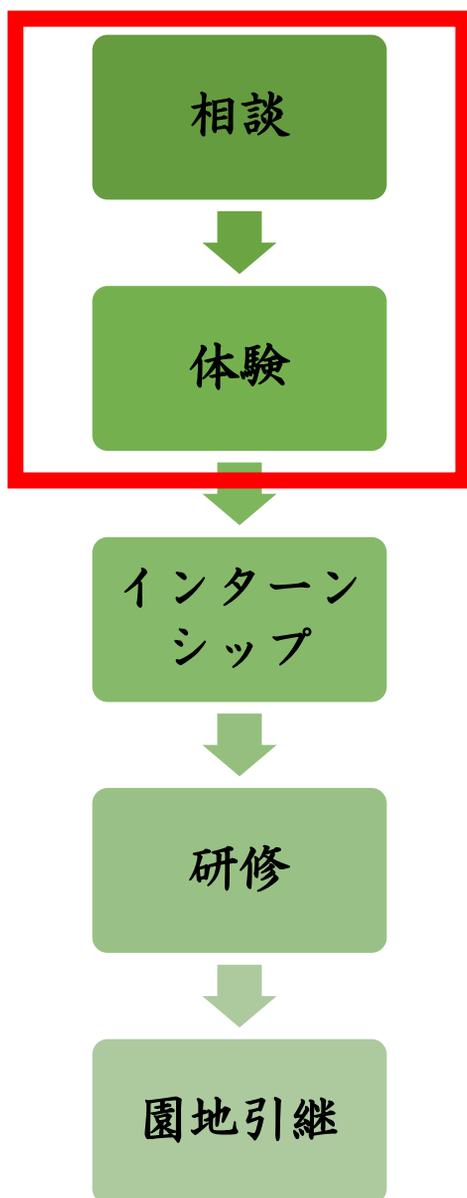
※通年で草刈り、農薬散布等の作業あり。

3. 求める担い手

まずは体験してみませんか？

果樹が好き、収穫体験をしたい、果樹農業をもっと盛り上げたい等、果樹農業を始めたい理由は様々だと思います。まずは、親方農家のもとで農家体験をして、果樹農業への適性等について、じっくり考えてみませんか？

4. 体験から独立就農までの道のり



①相談

南あわじ市では毎月1回就農相談会を開催しています。まずは相談会に参加し、果樹農業に対する思いをぶつけましょう。

②体験（5日間程度）

就農相談会において、果樹農業に対する強い思いが確認できたら、市内の果樹農家さん（複数名）を紹介します。まずは収穫などの基本的な作業を体験しつつ、農家さんと交流してみましょう。

③インターンシップ（20日間程度）

体験を経て、本格的に果樹農業をしてみたい！と思った方には親方農家を紹介します。20日間のインターンシップを実施して、果樹農業に挑戦するかどうかを考え、決定します。

④研修（雇用就農）（数年間 *人によって違います）

技術習得のみならず、地域との関わり方等について学ぶため、親方農家のもとで2～3年程度研修を受けていただきます。

⑤園地引継（独立就農）

後継者を必要としている園地の園主のもとに入り、園地の引き継ぎ（独立就農）をします。

5. 親方農家の紹介

(1) 親方農家 (雇用就農先)

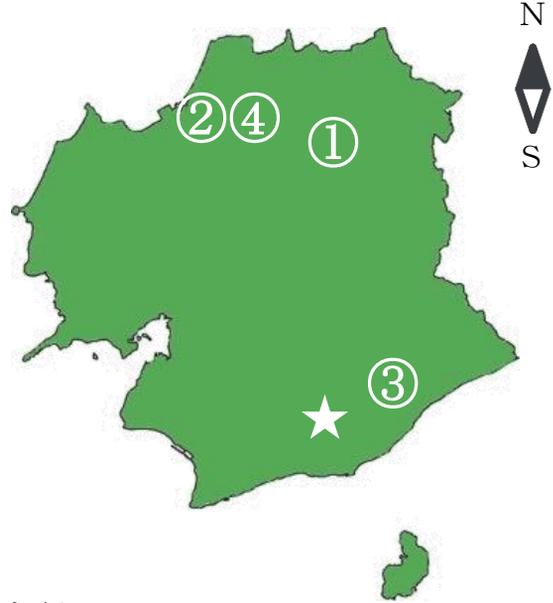


人間ができれば、
良いものができる！

★原田 富美男 (70歳)

- ・ 25歳から灘地区で果樹農業を開始
- ・ かんきつ類を中心に約150aを栽培し、主に個人宅配やスーパーで販売

園地マップ



(2) 体験受け入れ園主



- ① 北谷 宏行
倭文地区でかんきつ類を中心に約70a
みかんの木オーナー協会会長
- ② 山田 元敬
松帆地区でかんきつ類を中心に約70a
- ③ 本田 雅保
灘地区でびわを中心に約50a
- ④ 仲尾 修治
松帆地区でかんきつ類を中心に約80a
- ⑤ 福岡 不二夫
倭文神道でかんきつ類を中心に約17a

(3) 1日のスケジュール

夏	7:00～	朝食
	9:00～	作業
	12:30～	昼食 休憩
	15:30～	作業
	18:30～	夕食 自由時間
	23:00～	就寝

冬	7:00～	朝食
	9:00～	作業
	12:30～	昼食 休憩
	14:00～	作業
	17:30～	夕食 自由時間
	23:00～	就寝

6. 南あわじ市で暮らすには

(1) 就農は「地域への就職」です

南あわじ市で農業を始めるには「地域との付き合い」が不可欠です。病虫害や獣害等を地域に持ち込まないように草刈りに参加したり、地域で共同管理している水利の維持のための水路掃除のほか、地域のお祭り等へのイベントにも積極的に参加する必要があります。また、一経営者として営農を開始する際には、自治会への加入を必須とする地区がほとんどです。必ず親方農家に確認しましょう。

(2) 田舎暮らしは意外と大変です

南あわじ市で生活するには、自動車移動が基本です。農業を始めるとなれば、園地まで移動したり、収穫物を運搬したりするのにも自動車は欠かせません。住居については、南あわじ市の空き家バンク制度のほか、アパートやマンション等の賃貸も可能ですが、移住や引っ越しの際には早めに居住先を決めるようにしましょう。

(3) 人との縁を大切に

独立就農までの道のりは時間をかけて一つずつステップアップしていくのが近道です。その道のりのなかで、体験やインターンシップの受入れ農家を始めとして、研修でお世話になる親方農家や地域住民の方、行政関係者など色々な人に出会います。そういった人々は独立した後も様々な面であなたの強力なサポーターになってくれるかもしれません。人との縁や出会いを大切にしましょう。

7. 関係機関

関係機関	役割
原田農園	・ 農業研修受け入れ（全般指導）
南あわじ市果樹協会会員	・ 園地提供、栽培技術指導 ・ 地域溶け込みサポート
南あわじ市	・ 農業支援制度、移住定住制度等の情報提供
南淡路農業改良普及センター	・ 栽培技術、経営指導支援 ・ 農業支援制度の情報提供
南あわじ市就農支援連絡協議会	・ 就農希望者とのマッチング ・ 就農サポート全般